

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 20 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡県大牟田市
岬町 1-16

氏名 アルテミラ株式会社 大牟田工場
[Redacted]

電話番号 0944-41-2111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アルテミラ株式会社 大牟田工場
事業場の所在地	福岡県大牟田市岬町 1-16
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	飲料用アルミニウム缶 生産数量 510百万缶
③ 従業員数	82名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(1) 原材料、副資材を受入れ、梱包材、使用した廃材等を分別し、全処理委託処理 (2) 工場排水を排水処理設備で水処理し、発生した汚泥を脱水後全量委託処理
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙のとおり	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他 無機汚泥	ガラスくず等
	排出量	1,704 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	12 t	65 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	16 t	55 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
（これまでに実施した取組）			
<ul style="list-style-type: none"> ・生産向上（歩留向上） ・有価物資源への移行 ・照明を電球よりLEDにすることで、廃蛍光灯を削減 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他 無機汚泥	ガラスくず等
	排出量	1,527 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	69 t	54 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	15 t	54 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
（今後実施する予定の取組）			
<ul style="list-style-type: none"> ・生産向上（歩留向上） ・有価物資源への移行 ・令和7年度は、生産数量減により、排出量減となる見込み。 			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属、プラスチック等の組み合わせ機器、部品等を分別し、金属は、有価物として排出。 ・原材料の梱包材を、フィルム、樹脂、木材に分別し、フィルムは、有価物として排出
②計画	<p>（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も上記①を継続する。 ・廃油を有価物の品質にできる装置を使えるように改良を進める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他 無機汚泥	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他 無機汚泥	ガラスくず等
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	その他無機汚泥	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,529 t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・汚泥脱水機の含水率低減活動		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他無機汚泥	ガラスくず等
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,370 t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥脱水機の含水率維持活動		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	その他 無機汚泥	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	その他 無機汚泥	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	その他 無機汚泥	ガラスくず等
		全 処 理 委 託 量	175 t
	優良認定処理業者への委託量のうち	135 t	0 t
	再生利用業者への委託量のうち	175 t	0 t
	認定熱回収業者への委託量のうち	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量のうち	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	12 t	65 t
	優良認定処理業者への委託量のうち	12 t	65 t
	再生利用業者への委託量のうち	12 t	59 t
	認定熱回収業者への委託量のうち	t	6 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量のうち	t	t
	(これまでに実施した取組) ・排出量の削減		
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	その他 無機汚泥	ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	157 t	0 t
	優良認定処理業者への委託量のうち	121 t	0 t
	再生利用業者への委託量のうち	157 t	0 t
	認定熱回収業者への委託量のうち	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量のうち	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	全 処 理 委 託 量	69 t	54 t
	優良認定処理業者への委託量のうち	69 t	54 t
	再生利用業者への委託量のうち	69 t	49 t
	認定熱回収業者への委託量のうち	t	5 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量のうち	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・前年比にて生産量の減少見込により、汚泥を除く委託量が減少 ・汚泥については、廃水処理設備の補修を計画しており、汚泥採取量が大幅に増加する予定。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】				
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず		
①現状	全 処 理 委 託 量	16	t	55	t	
	優良認定処理業者への委託量	4	t		t	
	再生利用業者への委託量	12	t	55	t	
	認定熱回収業者への委託量	4	t		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t		t	
	産業廃棄物の種類					
	全 処 理 委 託 量		t		t	
	優良認定処理業者への委託量		t		t	
	再生利用業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t		t	
	(これまでに実施した取組) ・ 金属、プラスチック等の組み合わせ機器、部品等分別し、金属は有価物にて排出。 ・ 梱包材を分別し、フィルム、樹脂、木材等に分別し、フィルムは有価物にて排出					
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず		
②計画	全 処 理 委 託 量	15	t	54	t	
	優良認定処理業者への委託量	2	t		t	
	再生利用業者への委託量	12	t	54	t	
	認定熱回収業者への委託量	3	t		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t		t	
	産業廃棄物の種類					
	全 処 理 委 託 量		t		t	
	優良認定処理業者への委託量		t		t	
	再生利用業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者への委託量		t		t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量		t		t	
	(今後実施する予定の取組) ・ 金属、プラスチック等の組み合わせ機器、部品等分別し、金属は有価物にて排出を継続。 ・ 梱包材を分別し、フィルム、樹脂、木材等に分別し、フィルムは有価物にて排出を継続					